

「西田先生の質疑は細部まで調べあげてから質疑をされているのですか？」

平成 29 年 3 月 21 日

●小早川さんからの質問

西田先生の質疑を拝見し勉強させていただいております。そこで勉強のためにご質問させていただきます。西田先生の民主党（当時）の質疑は細部まで調べあげてから質疑をされているのでしょうか？それとも核心部分を把握されてから質問されているのでしょうか？当時の動画を拝見していると、すでに確信されている状態で質疑されていると私は考えております。正直、私でしたら応答者でしたら「私がやりました」って自白してしまいそうです（笑）また、質疑のコツなどがございましたら教えていただければ幸いです。

●西田昌司の答え

私が国会で質疑をする際には、事前に問題の全容を把握するまで徹底的に調べ上げています。「質疑」とは「聞く」ことではなく「糺す」ことですし、相手を降参させるためにはそういった下準備が欠かせません。単なる伝聞を根拠に相手を問い糺したとすると、もしもそれが間違っていたらこちらが大変なことになってしまいます。一次資料まで辿って揺るぎない自信を持たないことには質疑などできはしません。

質疑の際は役人に答弁を求めることも多いのですが、私の場合は国会でのやり取りの前に役人とは話をしています。「私がこういった質問をしたら、あなた方はどうやって答えるのか」と予め探りを入れて彼らの反応を見ているし、質疑がスムーズに進むよう役人への質問も十分に練っています。

ところが今の民進党の質疑を拝聴していると、週刊誌が騒いでいるよう

なネタをそのまま拝借しているだけの感が非常に強いですし、彼ら自身が事実関係を念入りに調べ上げているとは到底思えません。また、テロ等準備罪に関する金田法務大臣への質疑の際は、大臣が到底答弁できないような意地悪な質問をして大臣がしどろもどろになるところを国民に晒してやろうという非常に卑怯な戦法を彼らはとっていますが、このようなやり方は見ていて気持ちのよいものではありません。

法案の細部を聞きたいのであれば、大臣に質問をするのではなく刑事局長を参考人として呼べばいくらでも聞き出すことができるのですが、彼らは真実を追求するのではなく、たんに相手を困らせたくてやっているだけなのでそれもしません。彼らの振る舞いは国会におけるただのいじめに過ぎませんし、国会でそのような茶番を演じても国民には届かないでしょう。私が野党側であれば役人を使って事実関係をはっきりとさせた上で大臣を追及しますが、彼らはそういった真摯さに全く欠けていますし、非常に稚拙と言わざるを得ません。

私はこれから森友学園問題について、籠池さんへの証人喚問や総理に対する質問をすることになると思いますが、私なりにしっかりと全体像を把握した上でこの問題を追及したいと思っています。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>